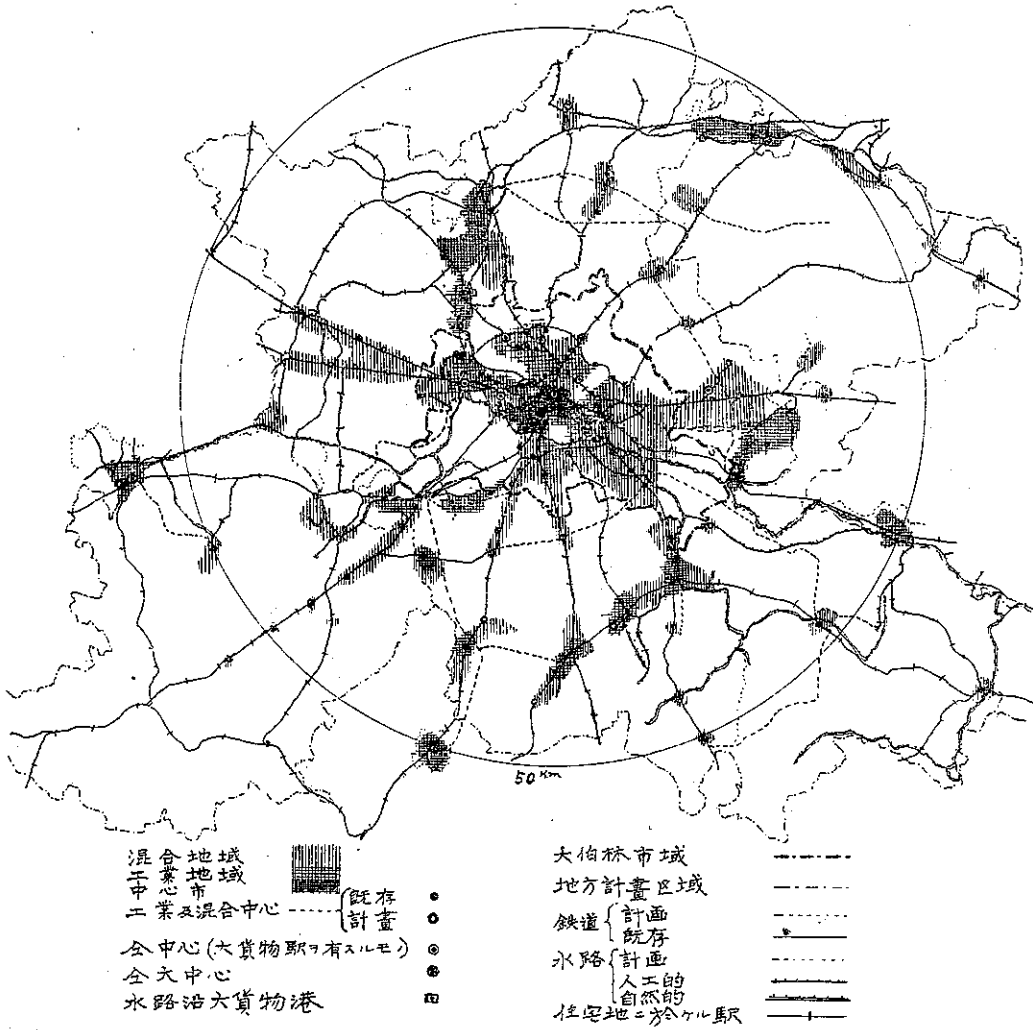


帶狀都市大柏林

(Städtebau 誌 April 1933 所載, 筆者は Martin Pfannschmitt 氏。ブランデンブルグ地方計畫聯盟は大柏林市中心より半徑約 50km 圏内にある郊外町村に於て 1930 年構成されたもので大柏林市を除く地方計畫區域である。

中世時代の環狀都市に對比して各種の交通路線に沿ふ帶狀都市の發展はスペイン、ロシア等に於て幾多の計畫を見受けられる。これに對し紐育地方計畫は星狀發展を考へ、交通路線沿ひの宅地化とその間の楔形緑地保存、更に外郊の放射線及び環狀線の交叉する箇所には一團の副中心市街地を試みてゐる。アーウィンの大倫敦計畫も稍よこれに類似する。將來の都市及び今後の都市發展に對しこの兩者の形態の何れを採用すべきかは個々の場合につき判斷すべきであり、現在の形態は最も重視すべきである。

大柏林に於ける工業及び混合地域の現況と將來の計畫



大伯林の都心より半徑 50km 圏内の都市形態を見るに種々の構成をなしてゐる。概ね工業地は鐵道、水路(運河)、道路等交通路線に沿ひ發展し、貨物驛、船溜その他貨物集散地を中心としてゐる。労働者及び勤人はその勤務地より凡そ 30 分以内に居住するを常とし、その外側及び間帯は一部の富裕者、非勤務所得により或は自宅營業高級階級の純然たる住居地域を構成してゐる。例へば西南郊ポツダム間、最近は北郊及び南郊にかゝる地域の發展を示してゐる。工業地には各種の工場集團し、住宅地及び緑地を併せ含み、混合地は主として住宅地であり、輕工場を點在せしめてゐる。かゝる現實の状態は工場と住宅を通勤距離の範圍内に置く點より見て最も理想的たるべく、その適當の配置は最も考慮すべきである。圖は現在の地域分布と將來の開發を豫定し工業地及び混合地(純住宅地を除く)の配置を示したものである。乃ち大凡交通路線に沿ひ帶狀市街を構成し、各小中心を有する。

都心を距る約 40km 以内に屬する工業地及び混合地は大伯林の労働市場と直接結び付けられ大伯林の一部たる近郊市街地となる。獨自の労働市場を有し同時に大伯林市場と限定せられたる依存關係を有する衛星都市は都心より約 50km 位の距離に配置せられる。乃ち大運河に沿ふ、Eberwalde-Finow, Unterhavel に沿ふ、Brandenburg, 南方 Luckenwalde 等が之である。(藤芳 義男抄譯)

土木事業と計畫

(既に開始せられた米國の失業對策及び産業復興の大土木事業に當り E. N. R. 誌 May 18, 1933 に寄稿せる Harold M. Lewis 氏の論文である。)

内外における物資運輸量、財源及び不動産價格の低落に伴ふ對策として當局は一大土木事業を起工せんとしてゐる。この時に當り如何なる土木事業がその目的を達し得らるゝかと共に、如何なる土木事業が都市にとり農村にとり切實なる必要を有するかを檢討する必要がある。一つの統一せる計畫なき土木事業は舵無き船の如きものであり、殊に一國産業の中樞たる都市及びその地方 (region) の開發に於て然りである。計畫なき土木事業は種々なる政治的壓迫及び利己的私利の風のまにまに流され勝ちである。反之國都ワシントンは 140 年前ジョージ・ワシントンの指導下にランファン市長の計畫した所であるが現在に至るまで整然としてこの計畫方針の通りに開發されてゐる。1857 年オースマン男の計畫した巴里の改造はその當時大半を完成したのであるが 1928 年に至つてその最後の計畫を實現した。1927 年發表された紐育地方計畫の如きは 1932 年迄の 4 年間に於て幹線道路網の 550 哩、全系統の 22% が建設せられてゐる。一面將來の開發を豫定して樹立せられる整然たる計畫は土木工事の豫算化を可能ならしむるものである。而して今回の如き場合に如何なる土木事業に着手すべきかに就ては極めて明快なる材料を提供する。

計畫の事業化には長年月を要す。將來の發展を考慮すべき計畫は只一種の小規模の計畫にては充分でなく綜合計畫でなければならぬ。従つて計畫は幾分大規模となるが故に短時日に完成し得らるゝものではない。切實に必要な部分より漸次着工すべきものであり、亦如何なる事業も孤立したものでは無く全體の系統の一部たるべきである。

計畫の二種類 計畫には 2 種類を必要とする。一つは Master Plan と稱せらるゝもので、幾分圖型的に而も包括的に先見的であり總べての計畫の基本となるべきものである。この計畫は一定不變のものでは無く將來の變遷に應じて適應調和せしむべきものである。この計畫は大局より見た綜合計畫なるが故に個々の細い所まで定